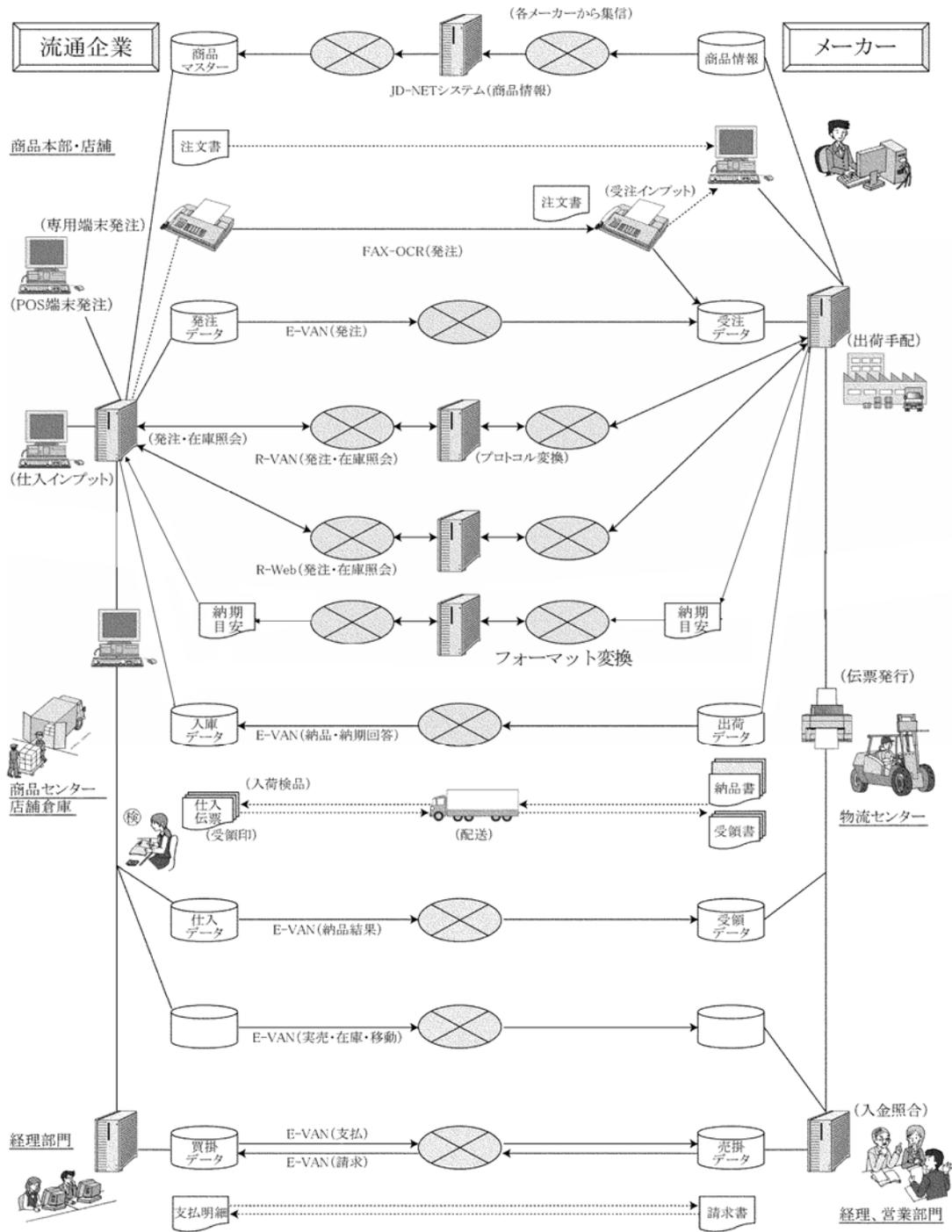


### 3. 標準EDIフローと受発注システム比較

#### (1) 家電業界標準EDIフロー

標準化が制定されたEDIを流通企業とメーカーとの間で発生する業務の中で対比させると図の様になります。

但し、誌面の関係で全ては盛り込めないこと、業務の名称や流れもここに記載したものが総てではないことは予めご了承ください。



(2)家電業界の受発注システム

	E-VAN (家電VAN)	R-VAN (リアルタイム VAN)	R-Web (インターネット型 VAN)	FAX-OCR (OCR注文書を FAX)
主な運用目的 と対象	EDIの実現 ・発注(一括・補充)	店頭での利用 ・発注・納期指定発注 ・メーカー在庫照会	店頭での利用 ・発注・納期指定発注 ・メーカー在庫照会	店頭での利用。 ・発注
接続先	VAN又は各メーカーの ホストへ送信	メーカー共同VAN への接続	メーカー共同www サーバーへの接続	各メーカー受注センターの 指定ダイヤルへ送信
通信方法	VAN経由データ 伝送	VAN経由リアルタイム 接続	wwwサーバー経由 リアルタイム接続	公衆回線(FAX)
伝送頻度	バッチ一括	都度	都度	都度
端末・設備	ホストコンピューター オフコン、サーバー	POS、ホストコンピューター、 オフコン、サーバー等	インターネットブラウザ	FAX
運用 メリット	・事務手続の軽減 ・正確で迅速な手配 ・データ管理の実現	・リアルタイムな商品手配 ・在庫、納期の確認 ・休日、夜間の利用	・リアルタイムな商品手配 ・在庫、納期の確認 ・休日、夜間の利用	流通側のシステム化が無くても 可能。電話問合せ時間等のロス タイムの削減
制約事項	対応伝票 ・統一伝票E様式	対応伝票 ・統一伝票E様式 ・CS伝票タイプI型 1回の発注は3明細	対応伝票 ・統一伝票E様式 ・CS伝票タイプI型 1回の発注は6明細	OCR用紙への手書き 記入が必要

これらのシステムの対応状況はメーカーごとに違いがありますので、具体化にあたってはメーカー、流通企業双方で詳細な打ち合わせが必要になります。